

KNIT

北海道ダイバーシティ
研究環境推進ネットワーク
Knit a network for diversity and
inclusion toward innovation

ニュースレター

科学技術人材育成費補助事業
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）
（令和元年度～令和6年度）



2020年3月発行

VOL. 01



創刊のご挨拶

北海道の6機関が連携する「KNIT」 次世代の女性研究者を応援します！

この度、北海道大学、室蘭工業大学、帯広畜産大学、北見工業大学、株式会社アミノアップ、日東電気株式会社は、科学技術人材育成費補助事業（文部科学省）「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）」（2019年度～2024年度）に採択されました。

我々は「多様なヒト、コトがさまざまな色と形でしっかり支え合っていく」本事業の愛称を北国らしい編み物と重ねて「KNIT」（ニット）と名付けました。このニュースレターでは「KNIT」に関わる人々の活動を皆様にお届けしてまいります。



NEWS 1 室蘭、帯広、北見はオンラインで参加 北海道ダイバーシティ研究環境推進ネットワーク会議

議長と会議進行は、KNIT代表機関の北海道大学より笠原理事・副学長が務めた。

2020年3月3日火曜、KNITのメンバー機関で構成される第二回「北海道ダイバーシティ研究環境推進ネットワーク会議」が開催されました。この日は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため時間を短縮した進行となり、札幌市以外の連携機関はオンラインで参加（午後に予定されていたシンポジウムは新年度に延期になりました）。各機関の次年度の事業計画が発表され、本事業の実現に向けて方向性を共有しました。

KNITの取組のひとつである女性研究者の上位職・管理職の増加については「日本全体の大きな課題であり、文化的な基盤や親世代の考え方などさまざまな要素を内包する問題だと思っておりますが、この事業を通して環境を整備し、女性管理職を増やしていける風土をつくっていききたい」と、北海道大学人材育成本部女性研究支援室の矢野理香室長。室蘭、北見の工業大学や帯広畜産大学はもともと教員・学生を含め女性の絶対数が少ない環境下だからこそ、今後ののびるに期待が高まります。

一方、企業の声として日東電気株式会社人財統括部基幹人事部の工藤明広部長は「力がある女性社員に管理職登用の声をかけて

も“現状維持”を希望する声が多い。近年は社内の育児休暇の消化率が100%になり、ライフイベントと仕事の両立を実践する女性も増えてきました。今後はさらに上位職を目指す意識を持ってもらえたら」と働く側の意識向上と、企業の環境整備の重要性を呼びかけました。



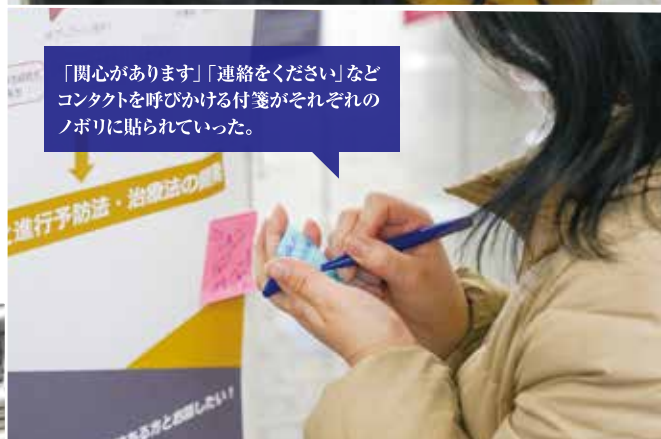
151枚の研究紹介ノボリがずらり 共同研究の種をまく「超異分野meetup」

2020年3月4日水曜、KNITの事業として研究交流発表会「超異分野ミーティング」が北海道大学学術交流会館で行われました。参加者はKNITが用意したノボリ型フォーマットに自分の研究紹介をまとめ、接点や関心がありそうな異分野研究者にアピールするというもの。北大学術交流会館のロビーをカラフルな151種類のノボリが埋め尽くす光景は“圧巻”の一言。「ノボリというミニマムなフォーマットが参加の敷居を下げた」という声もあり、“コロナ時期”の開催にも関わらず異分野のパートナー探しに熱心な来場者が集まりました。

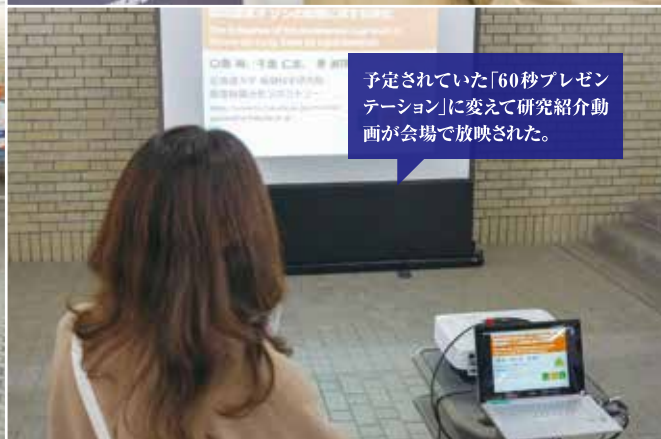
がん組織の分布を測定する高感度イメージ装置の開発に関わる博士課程1年の女性は「自分の研究を実際の医療現場にどう落としこんでいくかを試行錯誤中。医療系の研究者とお話したいです」というかたわら、女性研究者としてのキャリアアップは「アカデミックに関心があっても身近なロールモデルがないので将来像が描きづらい」と本音を告白。他の博士課程女性研究者も「どうやってライフイベントと両立していけばいいのか、それを誰に相談したらいいのかもわからない」と打ち明け、こうしたリアルな声からも本事業の重要性を再確認する場面となりました。



KNITのように共同研究を支援する組織の見学者も多く、マッチングのヒントを収集していた。



「関心があります」「連絡をください」などコンタクトを呼びかける付箋がそれぞれのノボリに貼られていった。



予定されていた「60秒プレゼンテーション」に変えて研究紹介動画が会場で放映された。



4月から募集
スタート!

女性の研究リーダーを育成

この「超異分野meetup」の参加者を対象にKNIT共同研究助成「女性研究者研究リーダー育成共同研究助成」の募集が4月から始まります。

対象 研究対象者となる北海道大学の女性研究者
条件 共同研究者が本学以外のKNIT共同実施機関に所属すること
金額 研究代表者に上限100万円
KNIT共同研究にて研究代表以外の共同研究者となる本学の女性研究者1人あたり上限20万円

助成対象経費 設備備品費(50万円以上の購入経費)、消耗品費、国内旅費、その他必要な経費(諸謝金、通信運搬費、借損料、雑役務費)
募集時期 2020年4月上旬～5月上旬
事務局 KNIT事務局(北海道大学人材育成本部女性研究者支援室)



KNIT ウェブサイト
<https://knit.synfoster.hokudai.ac.jp>

公式サイト
オープン!



お問合せ

北海道大学 人材育成本部 女性研究者支援室
〒060-0812 札幌市北区北12条西7丁目
北海道大学中央キャンパス総合研究棟1号館1階
TEL 011-706-3625 Email: knit@synfoster.hokudai.ac.jp